

島根県の再生エネ計画 原発位置付け明確に

市民団体が要望

原発に依存しない地域を
目指す市民団体「島根原発
・エネルギー問題県民連絡
会」（北川泉代表世話人）の
保母武彦事務局長は15日、
島根県が改定に着手した再
生可能エネルギーの導入計
画について、中国電力島根
原発（松江市鹿島町片匂）
の位置付けを明確にするよ

う求めた。

県が10日に開いた策定検
討委員会の初会合を傍聴し
た保母氏は「原発の再稼働
問題に触れずに再生可能エ
ネルギーの議論を始めてい
る」と批判。島根原発1〜3
号機の稼働の有無を踏まえ
た上で数値目標を盛り込ん
だ計画とするよう求めた。

同会は、原発からの計画
的脱却や再生可能エネルギー
推進を盛り込んだ「エネ
ルギー自立地域推進基本条
例」の制定を県に直接請求
し、県議会が2月定例会議
会で否決した。今後、検討
委の議論を独自に検証し、
論点などを県に申し入れる
としている。